



ヨハクフォーラム 2026

精神保健医療福祉における人権と地域生活支援を考えるシンポジウム

精神科医療と、地域でのケア・暮らし・福祉の実践から考える

令和8年 8月30日(日)

時間

13:00 ~ 18:00 (開場 12:30)

会場

ウエスタ川越 (埼玉県川越市) 川越駅西口より徒歩約5分

参加対象

精神保健医療福祉ユーザー・家族、医療・福祉関係者、行政関係者、教育関係者、一般市民等

参加申し込みは Peatix にて受け付けております
サイトへのアクセスは右の QR コードもしくは下記のリンクから：
<https://peatix.com/event/4965346>



主催

一般社団法人 SCRAP&BUILD / ヨハク

ヨハクフォーラム 2026

精神保健医療福祉における人権と地域生活支援を考えるシンポジウム

精神科医療と、地域でのケア・暮らし・福祉の実践から考える

本法人ではこれまで、精神科病院から地域生活への移行を支援する「退院支援」に継続的に取り組んでまいりました。実践を通して、地域での生活を希望する方が安心して暮らし続けるためには、医療の関わりだけでなく、福祉的支援、居住をめぐる支援、家族への支援、そして日々の生活を支える関係づくりが欠かせないことを実感しております。

一方で、退院支援を進めるうえでは、精神科医療における人権の観点（薬物療法、身体拘束等を含む）や、地域での支援体制の整備、関係機関の役割および連携のあり方について、引き続き検討が求められています。

本シンポジウムは、退院支援に取り組んできた立場から、精神科医療における人権の視点と、地域でのケア・暮らし・福祉を支える実践の視点を持ち寄り、医療・福祉・看護・家族・当事者等、さまざまな立場の方々とともに、今後の退院支援および地域生活支援が円滑に進むための医療・福祉のあり方、ならびに地域における支援体制の整備と連携の促進について検討することを目的として開催します。

本取り組みを通して、精神科に通院している方が地域で安心して生活を継続できる環境づくりに資することを目指します。

参加対象

精神保健医療福祉ユーザー・家族、医療・福祉関係者、行政関係者、教育関係者、一般市民等

参加費

会場参加（100名） オンライン参加（100名）
専門職：3,000円 一律：3,000円
その他：1,500円

後援

川越市、公益社団法人 日本精神保健福祉士協会、NPO 法人 全国精神障害者地域生活支援協議会（あみ）、一般社団法人 コミュニティメンタルヘルスアウトリーチ協会（アウトリーチネット）、一般社団法人 埼玉県訪問看護ステーション協会、公益社団法人 埼玉県社会福祉士会、一般社団法人 埼玉県精神保健福祉士協会、一般社団法人 埼玉県作業療法士会、西武文理大学、埼玉新聞社、社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団、全国精神医療労働組合協議会、社会福祉法人 川越市社会福祉協議会、川越市精神障害者家族会やまぶき会、川越市チューリップ親の会、全国地域移行支援協会かけはし、TOMY'S ACTION CLUB、訪問看護ステーションスクラム（川越市）、訪問看護ステーション彩（川越市）、はん訪問看護ステーション（川越市）、就労継続支援 B 型事業所 able! FACTORY（川越市）、就労継続支援 B 型事業所 スタジオワークデザイン（川越市）、NPO 法人 山正（川越市）、医療法人 瑞穂会（川越市）、社会福祉法人 さくら瑞穂会（川越市）、グループホーム ピクニック狭山（狭山市）、グループホーム トリポ狭山（狭山市）、NPO 法人 ヒールアップハウス（川口市）、一般社団法人 Q-ACT（福岡）、合同会社 ACT ひろしま（広島）、一般社団法人 パロム（板橋区）、NPO 法人 サポートあおい（川越市）

はじめに

山内智史
（ヨハク主任相談支援専門員）
「精神科病院からの退院支援の実践」



【第1部】精神科医療における人権を考える



石原孝二
（東京大学 / 哲学者）
「精神科の薬と人権」



長谷川利夫
（杏林大学 / 研究者）
「身体拘束と人権」



長嶺真智子
（東京武蔵野病院 / 看護師）
「精神看護と人権」

【第2部】地域でのケア、暮らし、福祉を考える



青木聖久
（日本福祉大学 /
精神保健福祉士）
「精神保健福祉と地域生活支援」



金子公重
（利用者家族）
「家族の視点から」



星野概念
（澁谷川診療所 /
精神科医）
「対話とケア」

各部のおわりに総合討論・会場とのディスカッションの時間があります。
最後に全体討論の時間があります。

クロージング



戸田竜也
（ヨハク代表理事）

